

テレワークのセキュリティ問題をどうする？

ディプロマット・ジャパン株式会社は、都内在住でテレワーク導入企業に勤務しており、機密書類・重要書類を持ち帰っている会社員 112 名を対象に「機密書類・重要書類の保管方法」に関する調査、並びに、自社社員が機密書類・重要書類を持ち帰っている経営者 100 名を対象に「テレワークにおける機密書類・重要書類のセキュリティリスク及びその実態」に関する調査を実施しました。（調査期間：2020 年 12 月 14 日～15 日）

【会社員の約 80%が自宅での保管が心配と回答】

会社員対象の調査結果では、テレワークの実施による、自宅での重要書類の保管方法について不安を抱えている人は約 80%いることが明らかになり、不安を抱える理由としては、「自宅に機密書類や重要書類の管理場所がない」が 62.8%で最多、次いで「訪問者や家族など誰でも閲覧ができてしまう」が 47.7%という結果になりました。また自宅で起こりうる心配事として、「プライベートな書類と混ぜてしまう」が 56.2%、「家族が誤って処分してしまう」が 48.2%など、テレワークにおける機密書類・重要書類の管理においては、様々な問題が介在しており、多くの人が不安に感じていることがわかります。

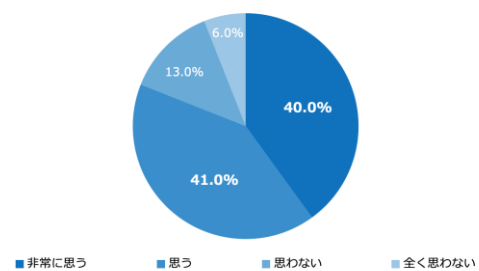
【経営者の約 80%が流出/紛失のリスクを感じている】

あわせて実施した経営者対象の調査結果では、テレワークの実施により、社員の機密書類や重要書類の流出/紛失のリスクが高まっていると感じる経営者は 76.0%存在し、多くの経営者がテレワークの実施にあたって機密書類や重要書類のセキュリティリスクの高まりを実感していることがわかりました。これに対する対策として最も多かったものは、「自宅での機密書類や重要書類の管理方法を統一する」の 57.9%であり、他にも「自宅の金庫にしまうこと」や「機密書類を取り扱っている意識の教育」などの声が挙げられるなど、テレワークで高まる書類のセキュリティリスクを抑えるために、経営者の間で様々な施策が検討されていることも明らかになりました。

【経営者の 80%以上がセキュリティ対策のために金庫などによる管理の徹底が重要と回答】

経営者対象の調査で「Q5.あなたは、セキュリティ対策のために、社員に対し金庫などによって機密書類や重要書類の管理を徹底させることは重要だと思いますか。」(n=100)と質問したところ、8割以上の経営者が「セキュリティ対策のために、社員に対し金庫などで機密書類や重要書類の管理を徹底させることが重要」と回答しています。

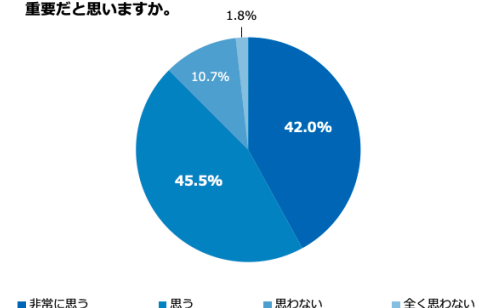
Q5.あなたは、セキュリティ対策のために、社員に対し金庫などによって機密書類や重要書類の管理を徹底させることは重要だと思いますか。



【会社員の約 90%は自宅でも金庫などで管理の徹底が重要と回答】

また、会社員対象の調査で「Q5.あなたは、セキュリティ対策のために、会社側が社員に対し、金庫などによって機密書類や重要書類の管理を徹底させることは重要だと思いますか。」(n=112)と質問したところ、こちらも約 90%の会社員が「自宅でも金庫などでの機密書類・重要書類の管理の徹底が重要である」と回答するなど、経営者・会社員両側面において、セキュリティ対策のための「金庫」の需要が増加していることがわかります。

Q5.あなたは、セキュリティ対策のために、会社側が社員に対し、金庫などによって機密書類や重要書類の管理を徹底させることは重要だと思いますか。



テレワークが普及したことにより、自宅で仕事をするのが当たり前になりましたが、多くの会社ではこれに伴い機密書類・重要書類の管理を社内でしきれないという問題が発生しています。**セキュリティ対策の一環として、「金庫」などで機密書類や重要書類の管理を徹底することは、社内の情報漏洩などのリスクを抑えるためにも非常に有効です。**安全なテレワークの実施と、もしもの時のリスクヘッジのために会社からの「金庫」の支給や購入を検討してみたいかがでしょうか。

